

## 4 令和3年度学校評価

<p>本年度の 重点目標</p>	<p>「自立や社会参加に向け必要な力を身に付け伸ばす」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 個々の課題に対応する自立活動・各授業の改善</li> <li>2 ICT機器の効果的な活用と教職員の指導力向上</li> <li>3 安全で安心な学校づくりと健康の保持・増進</li> <li>4 保護者・地域及び関係諸機関との連携</li> <li>5 互いにかしあい協働できる職員体制づくり</li> </ol>		
<p>担 当</p>	<p>重点目標</p>	<p>具体的方策</p>	<p>留意事項</p>
<p>小 学 部</p>	<p>児童が主体的・対話的・体験的に取り組める授業を展開する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援計画を基に各指導計画等のつながりを確認し、安全面や学習目標の共通理解を図って授業を展開する。</li> <li>・「新しい生活様式」に対応した安全で安心、清潔で活動しやすい教室環境を心がけ、健康の保持増進やけがの防止を図る。</li> <li>・地域資源をいかした体験的活動や情報機器を活用した活動を通して、個に応じた社会性の拡大を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年会、スタディ会等で児童情報や各自の課題を把握して学習活動に生かしていく。適宜緊急時の対応訓練を実施して周知を図る。</li> <li>・感染症対策を行って予防を図り、各自の特性や体調に配慮しながら安全な学習環境を整え維持していく。</li> <li>・公共交通や施設などを活用した実体験学習やICT機器を活用した新しい学習形態を通して、社会性やコミュニケーション力の拡大を図っていく。</li> </ul>
<p>中 学 部</p>	<p>生徒の社会性が育つ、学びある授業を構成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器を効果的に活用した授業づくりを推進する。</li> <li>・日々のつながり及び人とのつながりを考えた体験的な学習の充実を図る。</li> <li>・関係諸機関との連携及び職員間の連携・情報共有の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の障害特性に配慮し、ICT機器を効果的に活用した授業づくりを計画的に行う。</li> <li>・日々及び人とのつながりを考え、生徒一人一人の目標を意識した授業改善に取り組む。</li> <li>・職員が生徒の実態等を、適切に情報交換・共有することで、安心・安全で充実した学校生活を送れるようにする。</li> </ul>
<p>高 等 部</p>	<p>卒業後を見据え、地域社会で自己の力を発揮できるための授業を展開する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器を活用し、障害特性に配慮したわかりやすい授業を展開する。</li> <li>・自分とその周りの状況を知り、人とのつながりを大切に育てる姿勢を育む。</li> <li>・個々の進路実現に向けた課題を教員間で共有し、日常生活指導や授業改善につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器を活用し、障害特性に応じた教材や内容を工夫した授業を展開し、生徒が達成感を得られるようにする。</li> <li>・生徒同士が協力して活動する場面を多く設定し、自己肯定感や他者を思いやる気持ちを育む。</li> <li>・個々の生徒の目標を教員間で共通理解し、自立や社会参加に必要な力を高められるようにする。</li> </ul>
<p>訪問教育</p>	<p>人との関わりを大切にしたい授業を構成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問教育の活動を通して、児童生徒同士や取り巻く人と関わる機会をもつ。</li> <li>・授業の中で意思の表出を促すような内容を展開する。</li> </ul>	<p>タブレット端末を使用し、他の児童生徒との関わりに関心をもつことができるような活動内容を計画的に設定していく。</p>
<p>総 務</p>	<p>「新しい生活様式」を踏まえた儀式的行事の実施に向けて検討を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学式、卒業式について、日程及び参加人数や参加形態を検討して立案する。</li> <li>・児童生徒、教員がつながりを感じられるようにICT機器を効果的に活用する。</li> </ul>	<p>総務部職員が行事の計画や実施にいかすことができるようにICT機器に関する研修に努める。</p>
<p>教 務</p>	<p>新学習指導要領に応じた教育課程、学習の目標、評価の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領の3観点「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」を踏まえた目標及び評価について部会等で説明して全職員の共通理解を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料作りのために分掌部会で検討したり、関係する校務分掌と連携を図ったりすることで、いろいろな意見を収集していく。</li> </ul>
<p>研 修</p>	<p>「主体的な学びを促す授業づくり」に向けた研究や研修の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校研究や校内現職研修を通して授業研究の活性化を図る。「授業づくり」の根幹に視点を向けた研修や、ICT機器を活用した授業紹介などの取組を計画・実施することにより、「授業改善」への意識向上を図る。</li> <li>・研修の目的と内容に応じて最適な方法を選択できるよう、担当分掌との連携を図ると共に、幅広い研修方法を模索し、推進する。</li> <li>・グループウェアでの発信を通して、各事業の目的や内容の周知や職員のニーズの把握に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校研究や校内現職研修において、お互いの授業を見合えるような体制づくりと発信を行う。</li> <li>・「学習指導要領の理解」や「認知発達理解」といった研修を計画・実施する。</li> <li>・研修後のアンケートやグループウェアでの発信を通して、受講者のニーズの把握に努める。</li> </ul>
<p>図 書</p>	<p>児童生徒が本を身近に感じられる図書室環境を整える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒にとって分かりやすい図書の配架の工夫を行う。</li> <li>・本の案内の工夫をする。</li> <li>・読み聞かせ活動の推進を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掲示板を活用し、大型絵本の内容の紹介や心に残る一冊などの紹介をすることで、本や読書活動への興味・関心を広げる。</li> </ul>

教育情報	職員の情報活用能力の向上、ICT機器の整備と効果的な活用について推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の分掌等と協力し、率先して職員の授業や校務によるICT機器の活用方法について情報共有し、研修を行う。</li> <li>・授業、校務等の多様化、効率化に向けた情報化推進を考え、機器整備を行う。</li> <li>・本校のホームページを新しく更新する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教務部や研修部と連携し、授業でのICT機器活用を進めていく。</li> <li>・機器トラブル事例を整理して職員間で情報共有し、解決手順の浸透を図る。</li> <li>・ホームページの内容、更新方法について各部、各校務分掌と連携して見直し、改善する。</li> </ul>
生徒指導	危機管理体制の確立を図り、安全・安心な学校づくりに努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校集会や行事など、状況や実態に合わせた運用方法の改善を図る。</li> <li>・訓練や研修方法の見直しを行い、防災や人権に対する意識の向上につなげる。</li> <li>・他分掌との連携や職員間の情報共有を図り、学校全体で生徒指導を行う体制を整える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用したネットワークの使用法を事前に確認したり、有効的な活用方法の検討を行ったりする。</li> <li>・生徒指導において、他分掌や関係者との情報共有をして組織的な対応を行う。</li> <li>・ニーズに合わせた防災教育や防災に関する情報を定期的に発信するよう努める。</li> </ul>
進路指導	キャリア教育の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員に向けて、進路指導の進め方についてわかりやすく情報発信をしていく。</li> <li>・進路・生活情報交換会では、事業所の方から卒業生の様子や利用に向けて準備しておくことなどを話してもらい、保護者の方に児童・生徒の今後の生活に向けてイメージ化を図る。</li> <li>・児童生徒が進路への見通しがもてるように、進路先となる事業所及び上級学部の見学、講話、体験等を提案する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害福祉サービス事業所の名称と内容、産業界等における実習の進め方など、進路先を決定するまでの流れについて理解が深まるようにする。</li> <li>・進路・生活情報交換会への参加を通して、保護者が事業所の活動内容や生活の様子を理解する。</li> <li>・児童生徒が将来の姿を想像できるような活動を提案する。</li> </ul>
保健	職員間の連携をもとに、安全な教育環境を整える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員と看護師の情報交換を密にして医療的ケアが必要な児童生徒の体調把握に努める。また、医療的ケア、緊急時の対応について共通の理解をもって対応できるようにする。</li> <li>・ヒヤリハット事例の集約と分析に努め、事例を全校研修や職員会議等で紹介して、危機管理意識の高揚、持続化を図る。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症への本校のガイドラインを作成し、学校職員が連携して教育環境を整える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員と看護師が協力して医療的ケアが必要な児童生徒の支援をする。</li> <li>・危機管理意識の高揚を図る。</li> <li>・学校職員が協力して、児童生徒が安全に学ぶことができる教育環境を整える。</li> </ul>
教育支援	校内支援及び地域支援の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内支援の必要なケースに積極的に関わり、支援体制を整える。</li> <li>・職員のスキルアップにつながるように「支援部からの豆知識」を活用していく。</li> <li>・地域支援で関わった学校を継続して支援していけるように、つながりを作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援の必要な児童生徒のケース会を設定し、チームで情報共有、検討できるようにする。</li> <li>・職員の意見や困り事を収集し、児童生徒の支援に生かせる「豆知識」を発信していく。</li> <li>・地域支援で関わった学校に、あゆみ相談や事後相談の活用を促すことで支援を継続できるようにする。</li> </ul>
自立活動	自立活動の実践や課題の「見える化」をもとに、個々の課題に対応した指導の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器（主に児童生徒の個人タブレット）を活用し、自立活動の指導の「見える化」について実践研究を行う。</li> <li>・グループウェアで自立活動の指導の手だてや研修、参考資料を提示する。</li> <li>・活動室やプール室の教材や器具の使用法やねらいを、分かりやすく工夫して提示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立活動部職員が試行的に実践研究を行う。</li> <li>・年間を通して定期的に実践記録を個人タブレットに残しておき、指導の成果を確認する。</li> <li>・指導の実践記録を懇談会などで活用し、継続的な指導の充実を図る。</li> <li>・実践研究をして、分掌会で確認を行う。</li> <li>・各指導者が必要としている具体的な情報を調べ、提示できるようにする。</li> <li>・安全点検チェック表の様式を見直し、安全点検チェックを通して車椅子・装具についての安全意識を、学校職員と保護者が共有できるように努める。</li> </ul>
その他	協働できる職員体制づくりを進める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校務内容の精選及び分担の平準化を図り、多忙化解消に努める。</li> <li>・各行事について検討し、業務の効率化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各分掌間の業務内容について簡略化できる部分については見直しを進める。</li> <li>・学校全体で行事について検討できる機会を設ける。</li> </ul>
学校関係者評価を実施する 主な評価項目		<ol style="list-style-type: none"> <li>1 個々の課題に対応する自立活動・各授業の改善</li> <li>2 ICT機器の効果的な活用と教職員の指導力向上</li> <li>3 安全で安心な学校づくりと健康の保持・増進</li> <li>4 保護者・地域及び関係諸機関との連携</li> <li>5 互いにかしあい協働できる職員体制づくり</li> </ol>	